

学習指導要領		多摩科学技術高校 学カスタンダード
<p>A 話 す こ と ・ 聞 く こ と</p>	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を示しながら自分の考えを話すことができる。 ・目的に応じて、要点を押さえて聞き取ることができる。 ・グループ討議などで、相手と自分の考えの共通点や相違点をとらえ、相手の考えの根拠を理解し、自分の考えに生かすことができる。 ・自己評価や相互評価を通して、話し手の多様な思いや考えに触れ、その意義や価値に気付き、自身の考えを広げ、深めることができる。
<p>B 書 く こ と</p>	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常体と敬体を相手や目的に応じて使い分けることができる。 ・論理の構成や展開の仕方について知り、自分の考えをその根拠と結び付けて文章にすることができる。 ・事実や事柄などを具体的に説明したり、手順や理由などを順序立てて説明したりすることができる。 ・発想の豊かさや論の構成・展開の仕方など、良い点・直すべき点を指摘することができる。

学習指導要領		多摩科学技術高校 学カスタンダード
C 読 む こ と	ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・比喩法を理解し、文章中の比喩について意味もしくは効果を説明できる。 <p>【古典】</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いに注意して音読することができる。 ・文節や単語など区切りに注意して音読することができる。 <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の基本的なきまり（訓点・再読文字・置き字・句法など）に従って音読することができる。
	イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	<p>【現代文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えを読み取ることができる。 ・文脈をとらえ、指定された条件に従って説明できる。 <p>【古典】</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用言・基本的な助動詞・基本的な敬語、係り結びなどを理解して、文章を読み取ることができる。 <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点や、基本的な再読文字（未、将など）・置き字（於、而など）・句法（否定、使役など）について理解して、文章を読み取ることができる。
	ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	<p>【現代文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動や、心情とその変化を読み取り、説明できる。 ・比喩表現などから状況や心情をとらえて説明できる。 <p>【古典】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較的短く平易な文章の場面や人物を押さえ、誰が、どうしたという流れを読み取ることができる。
	エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	<ul style="list-style-type: none"> ・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読み取ることができる。 ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法を説明できる。

学習指導要領		多摩科学技術高校 学カスタンダード
	<p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書き手の主張や意図を読み取ることができる。 ・読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り利用することができる。
<p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p>	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の朗詠・贈答の慣習、歌物語などについて理解する。 ・主要な古典知識（月の異名、十二支、古時刻・古方位、年中行事）や価値観（結婚観や宗教観など）について理解する。 ・中国の文字や書物の影響のうち基本的なもの（故事成語など）を知る。 ・歴史的仮名遣い、用言の活用（「恨む」「飽く」などを含む）、助動詞・基本的な助詞（「ば」など）の意味・用法、係り結び、敬語、和歌の修辞などを理解し、文法的に説明したり、本文の読解に役立てたりすることができる。 ・訓点や基本的な再読文字（未、将など）・置き字（於、而など）・句法（否定・使役など）について理解し、訓読したり書き下し文に改めたり、書き下し文を参考にして白文に訓点を施したりすることができる。 ・熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係を理解する。 <p>【古典】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読んだり、表記したりすることができる。 ・主要な古今異義語（あはれなり、おどろく、ののしるなど）の意味の違いを知る。 <p>【現代文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明的文章に使用される語句のうち難解なもの（概念、普遍、カテゴリー、マクロなど）も含み、主要なもの（相対、抽象、エゴイズム、グローバルなど）の意味を理解する。

学習指導要領	多摩科学技術高校 学カスタンダード
<p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p> <p>ウ 漢字に関する事項</p> <p>(ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典・古語辞典や漢和辞典を引くことができ、基本的な現代語・古語や漢語の意味を知る。 ・基本的な古語（遊び、いらふ、ありがたし、いとなど）40 語程度の意味を知る。 ・基本的な漢語（不、使、也、欲、乃など）20 語程度の意味を知る。 ・常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表の漢字 1006 字を含む 1600 字程度を書くことができ、文や文章の中で使うことができる。